

全人民の怒り爆発サミット大破産



日刊 動労千葉

86. 5. 7

No. 2233

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二二七二〇七

まさか！ミランくの中曾根を今こそ 暴発打倒し、三里塚・国鉄決戦勝利へ

動労千葉は五月四日、首都戒厳体制を打ち破り、渋谷区宮下公園で開催された「東京サミット粉砕・中曾根内閣打倒、五・四 全国総決起集会」に一七〇名の隊列で結集し、米帝レーガンのSDI（戦略防衛構想）の承認、凶暴なリビア侵略戦争への積極参加を軸とした、世界戦争会議を徹底的に糾弾すると共に、東京サミットの「成功」で「三選」―「総決算」を議論する中曾根の反動プランをうちくたく大デモンストレーションを貫徹した。

戒厳令的弾圧をふきとばし、 動労千葉、連続決起

天皇―東京サミット―三選―総決算という反動プランを目論む中曾根は、警備費のみで七十数億円、連日三万人をこえる機動隊を首都東京に張りつけ、文字通りの戒厳体制の下で、反対の声を圧殺し、戦争会議を強行せんとしていた。

五・四闘争は、社共等既成勢力が屈服する中で、三三八八名という大結集で断固決起し、東京中にこだまする圧倒的デモと、戒厳令下の大弾圧をものみごととにふきとばす全人民の怒りの実力闘争の爆発で、これを完全に打ち破った。

動労千葉は、当局・権力一体となった参加妨害、駅構内での不当検問等の弾圧をはねのけ、労組として唯一決起し、中曾根打倒―国鉄分割・民営化阻止への闘いとして貫徹しぬいた。

戦争会議―サミットに、 全人民の怒り爆発

集会は、カトリック司祭・国枝夏夫氏、反対同盟・萩原進氏の司会で進められた。ジャーナリスト・川田泰代氏ら呼びかけ人あいさつの後、東京実行委員会の長谷川英憲氏から「血ぬられた戦争会議を許すな。四・二九につづく、戒厳体制打ち破る連続決起で中曾根の野望を粉砕している今日の闘いを出発点に、三里塚・国鉄決戦を軸に、中曾根打倒へさらに巨大な決起をかちとろう。五・二五 三里塚へ総決起しよう」との基調報告を受けた。

三里塚反対同盟、北富士忍草母の会、全関西実行委からの特別アピールのあと、布施書記長があ

ヤ二波、ヤ二波勝利の地平守りぬぎ、

ヤ三、ヤ四波の爆発を準備しよう、



被解雇・停職者 激励会

5月11日(日)14時
千葉ステーションビル
6F大ホール

デモ隊に数倍する戒厳令警備、
動隊の超絶攻撃に終った。
しかし、全ては破産した。
(5月4日、渋谷駅前)



中曾根プラン―ガタガタ 今こそ、中曾根打倒へ

四・二九―五・四集会への大結集は、中曾根・当局に大打撃を与えると共に、右傾化する労働運動総体に対し、警鐘を乱打し、闘う方向をさし示すものとなった。

いよいよ決戦を迎えた国鉄分割・民営化―十万人首切り阻止をめぐる攻防の勝利をめざし、全国上映運動、物資販売をもつて、全国各地域へ一丸となつて打って出よう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

通貨安定、厳しい選択

読み誤った反テロ声明

苦しい「リビア」明記
米欧に押し切られる

中東外交の幅狭める
アラブ諸国の反発必至

波乱含みサミット後政局
円高の歯止め不十分
自民内に失望感や批判

東京サミット

迫られる黒字削減
相互監視 介入断られ事前同意

「ドル」を「ロン」に肩入れ
首相の「同情」発言が波紋

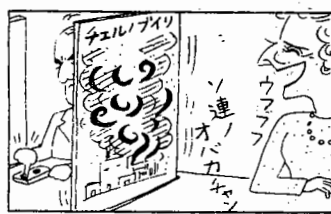
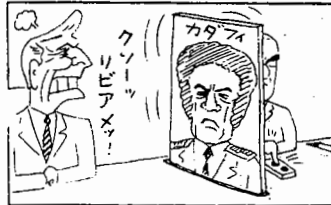
東京サミットの誤算と重荷
中東外交に影響懸念も

テロ、原発を前面に
円高の目せらす 首相の思惑

東京で高値を更新
「サミット即効薬なし」

円高に65円台

フジ三太郎
サマウ サバイ



頼みのロンが干
中曾根のめくらしスタンドプレー外交の正体が暴露されたら! 厳しく指摘

外国人記者ももどかれた通商交渉

中曾根のめくらしスタンドプレー外交の正体が暴露されたら! 厳しく指摘



中曾根にガタ...
支配者どもの中に、失望・不満・内紛が拡大

「天皇」サミットで墓穴を掘った中曾根
今こそ人民の実力で打倒しよう!



チューカクって何だ
外人記者団仰天!
直接弾は初めて
1600人が大じ

1000人集会で気勢

破られた3万人防壁
政府首脳 ショック

迎賓館危機発生



資料
商業新聞各紙
「さえ表れた中曾根の没落と危機」